

解体前の駐在所で

災害救助訓練

7月16日、旧上ノ国駐在所で、函館方面本部警備課と江差警察署合同で、豪雨災害などへ対処する技能習得を目的とした災害救助訓練が実施されました。

江差警察署の木村副署長は「九州や中部の豪雨災害で多くの被災者が出た中で、北海道も有事に備えなければならぬ。住民に安心していただけるように、能力向上のため訓練を行っていききたい。」と話していました。

なお、駐在所は、解体後同じ場所に建てられ、令和3年1月再開を予定しています。



**銘酒「天河のめぐみ」
今年も販売開始**

昨年好評だった上ノ国町産のお米を使ったお酒「天河のめぐみ」が今年も販売を開始し、ななつぼしとふつくりんこ2種類が町内の商店に並びました。

今年も、町内産のお米を使った特産品を開発する「上ノ国日本酒友の会」が発足し、上ノ国観光ガイド協会から事業を引き継ぎ販売をしています。

佐藤博会長は、「上ノ国町産米を100%使用したフルーティな味わいの天河のめぐみを町内の人に楽しんでもらいたい。」と抱負を語りました。

道の駅もんじゅいで

海を見ながらBBQ

8月1日、道の駅上ノ国もんじゅいで新たに開始したサービス「手ぶらでBBQ」に、初めて6名の利用者が訪れ、バーベキューを楽しみました。

このサービスは、訪れた方が2階テラス席で海を見ながら、町内産の海産物や季節の野菜、フルーツポークなどを味わえるものとなっております。

道の駅スタッフは「上ノ国町の旬な食材を味わいながら、絶景のオーシャンビューで癒やされてほしい。」と、新たな試みの魅力を話していました。



**扇石町内会の
新たな山車お披露目**

8月13日、扇石町内会では、一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業により整備した新たな山車をお披露目しました。山車の整備は、町内会内に所在する柵草間建設工業の全面協力のもと、銅板の取付や塗装などは自分たちで行い、長年地域を練り歩いた船神輿は、山車の上部の象徴的な存在となりました。

今年も、新型コロナウイルスの影響で通常の巡行を行うことが出来ませんでした。来年こそは、地域の方々の力でこの山車を動かせることを楽しみにしています。

